

〈文学講演会〉

言葉の不思議

講師：歌人 穂村 弘さん

三鷹市では多くの市民のみなさんに文学に親しんでいただくため、(株)筑摩書房と共催で、太宰治賞と文学講演会を開催しています。今年度は、講師に穂村弘さんをお招きします。

令和8年2月8日（日）

午後2時～3時30分（開場1時30分）

三鷹市芸術文化センター 星のホール



講演テーマ 言葉の不思議

「きびしい半ケツが出ました」「でも、さっきそうおっしゃったじゃねえか！」「ドアストッパーが隕石と判明」「北朝鮮の宇宙飛行士太陽に着陸成功」「南極で初の殺人未遂 読んでいる本のネタバレされて」「水族館でサメの盗難事件発生 ベビーカーに入れて赤ちゃんに見せかける」『キニキリームキロッキ』など、日常の中で出合った不思議な言葉について、またそこから紙一重とも思える詩歌の構造や魅力について、考えてみたいと思います。

講師プロフィール

歌人。一九九〇年、歌集『シンジケート』でデビュー。短歌をはじめとして、評論、エッセイ、絵本、翻訳などを手がける。『手紙魔まみ、夏の引越し（ウサギ連れ）』『水中翼船炎上中』『世界音痴』『本当はちがうんだ日記』『によっ記』『彗星交叉点』『蛸足ノート』『短歌の友人』『短歌ください』『短歌のガチャポン』等著書多数。伊藤整文学賞、講談社エッセイ賞、若山牧水賞、アルスエレクトロニカ栄誉賞他を受賞。日経新聞歌壇選者。

【お問い合わせ先】

三鷹市スポーツと文化部芸術文化課 電話：0422-29-9861